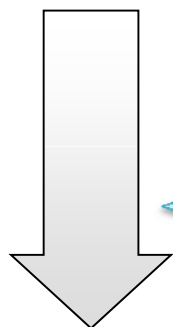


下水道ナショナルデータベース(仮称) 構築の検討

第4回検討会

- 下水道ナショナルデータベース(仮称)の検討
 - ・活用目的、メリット
 - ・システム概要



- 下水道ナショナルデータベース(仮称)構築に関する業務



第5回検討会

- 下水道ナショナルデータベース(仮称)の運営スキーム検討

下水道ナショナルデータベース(G-NDB)(仮称)の活用目的(案) 国土交通省

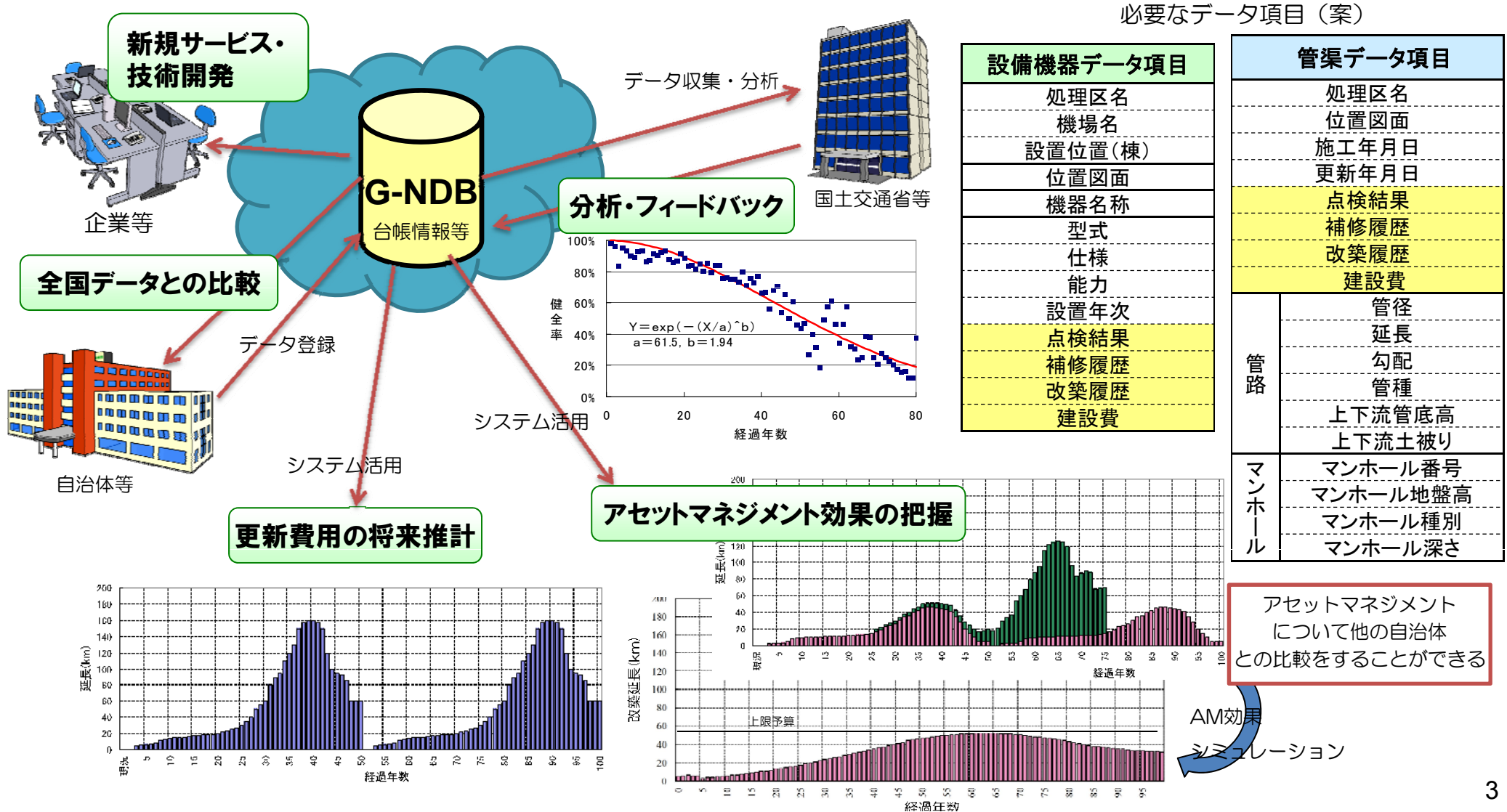
平成24年度の検討成果を踏まえ、下水道ナショナルデータベース(仮称)の活用目的を下記の通り整理

目的	平成24年度に検討された ニーズ・シーズ・課題解決のイメージ(抜粋)	
①アセットマネジメント	<p>設備機器と維持管理データの統合</p> <p>全国自治体のデータ集約</p>	<p>・ビックデータ</p> <p>・ビックデータ</p> <p>設備機器データと維持管理データを同一システムで管理できるファイリングシステムを構築することにより、設備機器と維持管理データを統合した分析ができる</p> <p>複数自治体のデータを集約し、分析を行なうことができる</p>
②迅速な被害状況調査・復旧活動	<p>被災した設備機器等の把握</p> <p>復旧に必要な設備機器等の把握</p>	<p>・ICタグ ・モバイル・タブレット ・ビッグデータ</p> <p>・BCP ・マネジメントシステム</p> <p>クラウド上に施設台帳データを構築することにより、外部から設置施設と被災施設のマッチングを行うことができる</p> <p>被災設備の代替品や必要な資機材について、全国の自治体やメーカーにおける所有状況の検索・調達を行うことができる</p>
③ベンチマーキング	<p>他自治体の成功事例が知りたい</p>	<p>・データ解析・検索</p> <p>事業の運用状況を、全国の自治体の中でのベンチマーク等による比較解析することで、点数化(順位づけ)および上位の成功事例の抽出・検索ができる</p>

①アセットマネジメント(活用イメージ)

【機能イメージ】

- 施設諸元、点検、補修、改築データ、施設健全度、耐震性能等の集約・蓄積・分析
- 更新費用の将来推計、アセットマネジメント効果の簡易算定



①アセットマネジメント(活用メリット)

地方公共団体	国	企業・研究機関等
<ul style="list-style-type: none"> ○更新費用の将来推計 ○アセットマネジメント効果の簡易的な把握 ○全国の施設の点検、調査、修繕、改築状況及び健全度の把握 →<u>全国的な動向も踏まえた効果的なアセットマネジメント推進等</u> <div data-bbox="439 858 1061 979" style="background-color: #76b82a; color: white; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">国土強靱化の推進</div> <div data-bbox="439 999 1061 1120" style="background-color: #3498db; color: white; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;">経営の効率化</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道施設全体の「健全度」、「耐震性能」等の把握 ○更新費用の将来推計 →<u>戦略的な維持管理・更新施策立案、予算の重点化等</u> ○機器の劣化度予測等の分析・提供 ○長寿命化計画策定ルール効率化 →<u>地方公共団体のアセットマネジメントを支援等</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国の施設データ、健全度、耐震性能等の把握によるマーケティング・戦略的投資 →<u>新規サービス、技術開発促進等</u> <div data-bbox="1585 657 2078 769" style="background-color: #6b347a; color: white; text-align: center; padding: 10px; margin: 10px 0;">成長戦略の推進</div>
<ul style="list-style-type: none"> ○全国データとの相对比较に基づく、<u>予算・人材・組織体制等の重点化、効率化、拡充等</u> <div data-bbox="170 1340 685 1461" style="background-color: #3498db; color: white; text-align: center; padding: 10px; margin: 10px 0;">経営の効率化</div>		

② 迅速な被害状況調査・復旧活動(活用イメージ)

【機能イメージ】

○被災状況、復旧状況、必要物資、資機材、人員等の把握、共有



必要なデータ項目 (案)

設備機器データ項目	
処理区名	
機場名	
設置位置(棟)	
位置図面	
機器名	
型式	
仕様	
能力	
設置企業名	
設置年次	

大分類	中分類	小分類	年数(注)	
ポンプ設備	汚水ポンプ設備	逆止弁	15	
		真空ポンプ		
		貯留タンク		
雨水ポンプ設備	水中撈拌機	真空弁	10	
		ポンプ本体		
	電動機	電動機	20	
		減速機		
		抵抗器・制御器		
	排水ポンプ車(車両本体)	吐出弁	逆止弁	15
			ディーゼル機関	
		ガスタービン	ガスタービン	15
			空気圧縮機	
		燃料タンク	燃料タンク	15
真空ポンプ				
消音器		消音器	7	
		冷却器		
排水ポンプ車(車載設備)				10

管渠データ項目		
処理区名		
位置図面		
管路	管径	
	延長	
	勾配	
	管種	
	上下流管底高	
	上下流土被り	
	施工年月日	
	更新年月日	
	マンホール	マンホール番号
		マンホール地盤高
マンホール種別		
マンホール深さ		
施工年月日		
更新年月日		

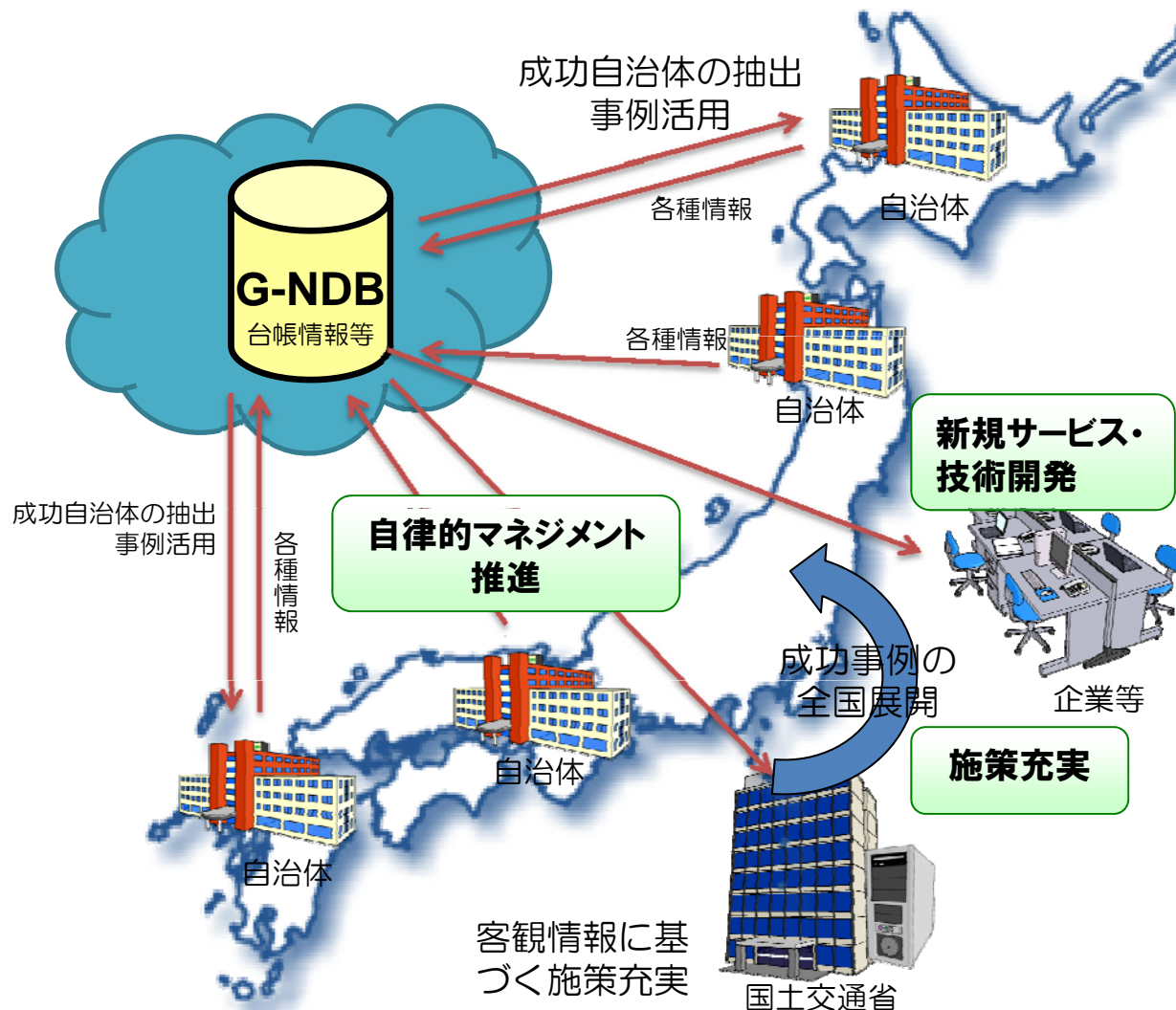
②迅速な被害状況調査・復旧活動(活用メリット)

地方公共団体	国	企業・研究機関等
<p>○被災によるデータ紛失に備えたバックアップ ○被災状況、復旧状況の迅速な把握、公表、共有 ○必要物資、資機材、人員等の把握、共有 →<u>支援体制の早期構築、2次被害の防止等</u></p> <div data-bbox="1205 475 1704 616" style="background-color: #f4a460; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 災害からの早期復旧 </div>		
<p>○被災データの分析による <u>耐震・対津波対策等の重点化等</u></p> <div data-bbox="394 978 1014 1118" style="background-color: #92d050; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 国土強靱化の推進 </div> <div data-bbox="394 1145 1014 1286" style="background-color: #4db6ac; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 経営の効率化 </div>	<p>○被災データの蓄積、分析による インフラ脆弱性評価 →<u>施策立案・重点化、技術開発促進等</u></p>	<p>○被災データの分析等による マーケティング・戦略的投資 →<u>新規サービス、技術開発促進等</u></p> <div data-bbox="1503 911 1998 1051" style="background-color: #7b4397; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> 成長戦略の推進 </div>

③ベンチマーキング(活用イメージ)

【機能イメージ】

○各自治体の事業進捗状況等データの集約・蓄積・比較



業務指標候補 (別途ベンチマーキング検討会で検討中)

カテゴリー	指標
防災・減災	内水ハザードマップ策定・活用
	下水道による都市浸水対策達成率
	地震・津波BCPの作成・活用
	地震対策上重要な下水管きょにおける地震対策実施率
	処理場耐震化率
水環境	高度処理実施率
	合流式下水道改善率
	汚水処理人口普及率
維持管理・ストックマネジメント	陥没箇所数 (管きよ延長あたり、30年経過管きよ延長あたり、人口あたり 等で比較)
	管路の点検実施率
	老朽管調査率
	台帳の電子化 (実施or未実施)
経営	経常収支比率
	繰入金比率 (収益的収入分・資本的収入分)
	下水道処理人口1人当り汚水処理費 (維持管理費・資本費)
	汚水処理原価
	経費回収率
	下水道処理人口1人当りの基準外繰入金
	企業会計の適用
	管理会計の実施
財政計画の策定	
資源・エネルギー	処理水有効利用率
	下水道に係る温室効果ガス排出削減
	処理水量当りエネルギー使用量
	下水道バイオマスリサイクル率
広報	下水汚泥リサイクル率
	中長期計画等下水道事業の現状と将来展望に関する情報開示
その他	環境学習実施率
	処理場見学者率
その他	循環のみち下水道賞等の累積受賞回数
	新技術の開発・導入
	人材育成 (研修時間や資格保有者数等)
その他	適正な調達制度の適用状況

③ベンチマーキング(活用メリット)

※ベンチマーキング検討会「中間とりまとめ」より抜粋

地方公共団体	国	企業・研究機関等
<p>○共通指標の導入と公開により、下水道界のコミュニケーションを円滑化させ、「循環のみち下水道」実現の加速を図る。</p>		
<p>○国内外の他事業者との比較による相対的な成果・課題の把握</p> <p>○良好な取組(ベスト・プラクティス)から学び、自らの事業改善に活用 等 →<u>自律的マネジメントの促進</u></p>	<p>○定量評価による国際的な視点も踏まえた我が国の相対的な立場(成果・課題)の把握</p> <p>○重点支援すべきグループ・自治体の把握、改善プロセスの共有、全国水平展開 等 →<u>施策充実</u></p>	<p>○地方公共団体の取り組みを通じた間接的な評価向上</p> <p>○地方公共団体の抱える課題の把握による技術・サービスの開発促進 等 →<u>官民連携強化</u></p>
<p>国土強靱化の推進</p> <p>経営の効率化</p> <p>低炭素・循環型社会への貢献 など</p>		<p>成長戦略の推進</p>

①データの集約、共有方法

○データをどのような方法で閲覧し共有するか

- 地方公共団体のオリジナルデータにアクセスし検索・閲覧
- 地方公共団体のコピーデータをデータベースへ保存し閲覧

②データ規格への統一方法

○データベースへ保存するデータ規格への統一化を誰が行うか

- データベース管理者(国等)が統一化
- データ提供者(地方公共団体)が統一化

③データベースの形式

○データベースのサーバー形式をどのようにするか

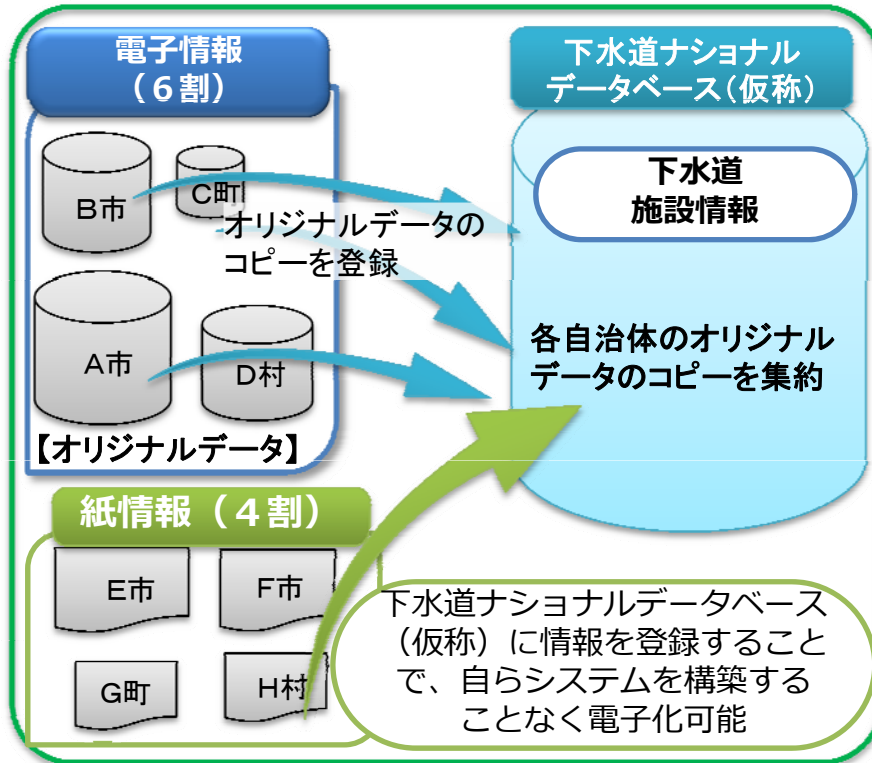
- 全国で1つのサーバー
- 地方公共団体の任意で様々なサーバーに保存

④ネットワーク回線の種類

○データベースへのネットワーク回線をどのように構築するか

- インターネット回線
- 専用回線

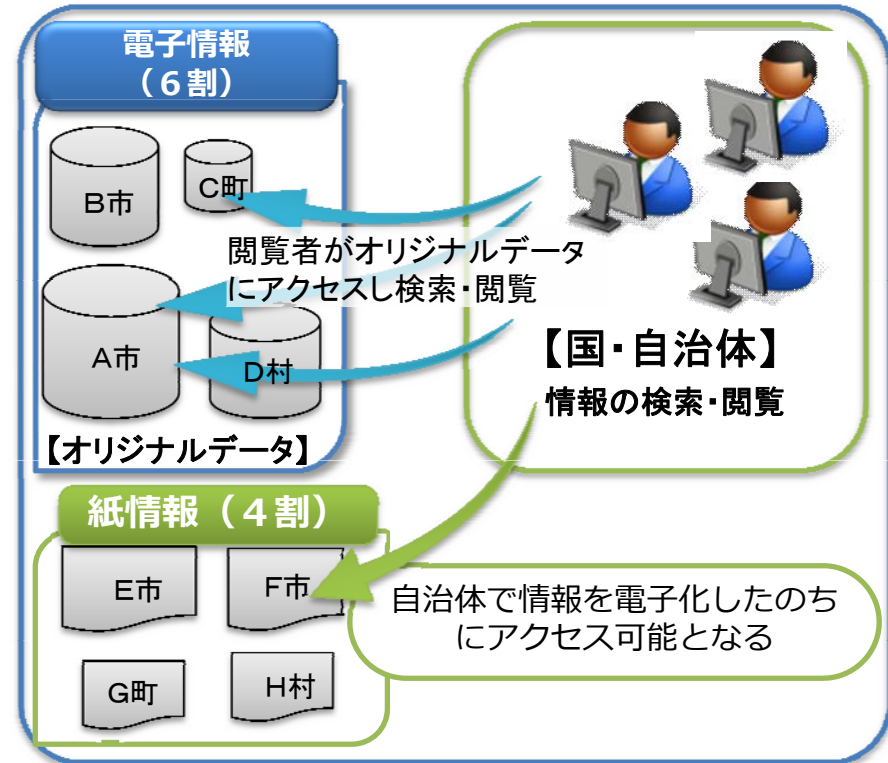
コピーデータを登録し閲覧



- データベースでコピーデータを集約管理しているため災害時のバックアップ機能がある。
- データベースに登録するためにデータの統一化を行う必要がある。



オリジナルデータへのアクセス



- コピーデータを持たないため、災害時のバックアップ機能がない。
- 全ての自治体のシステムの変更が必要。

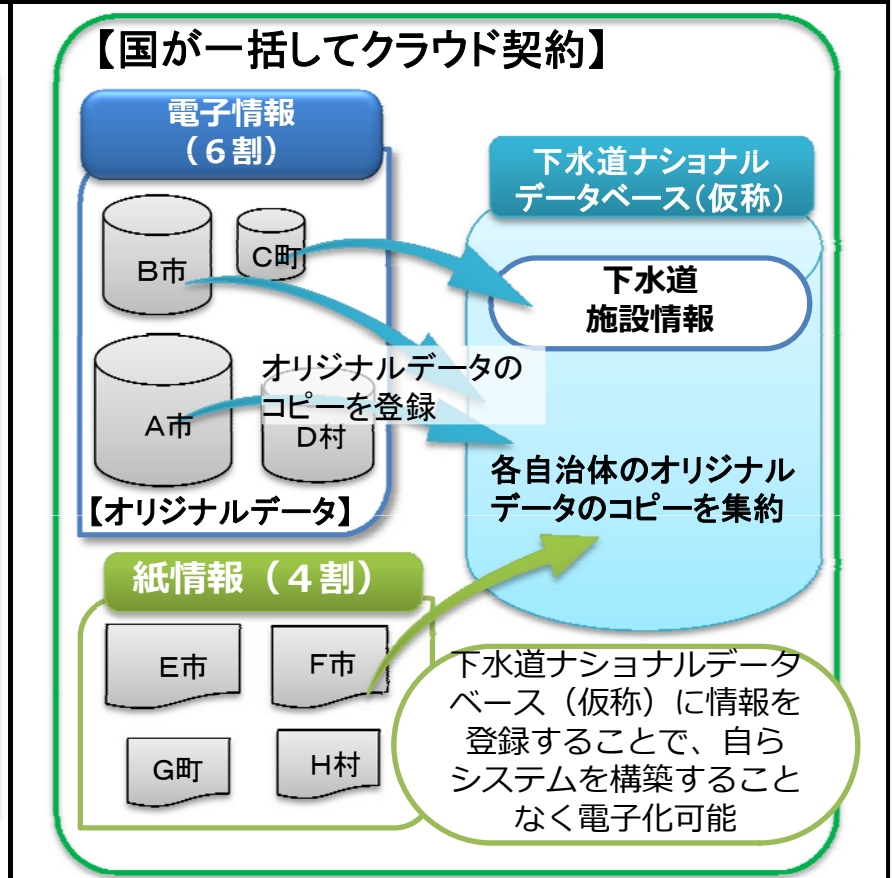
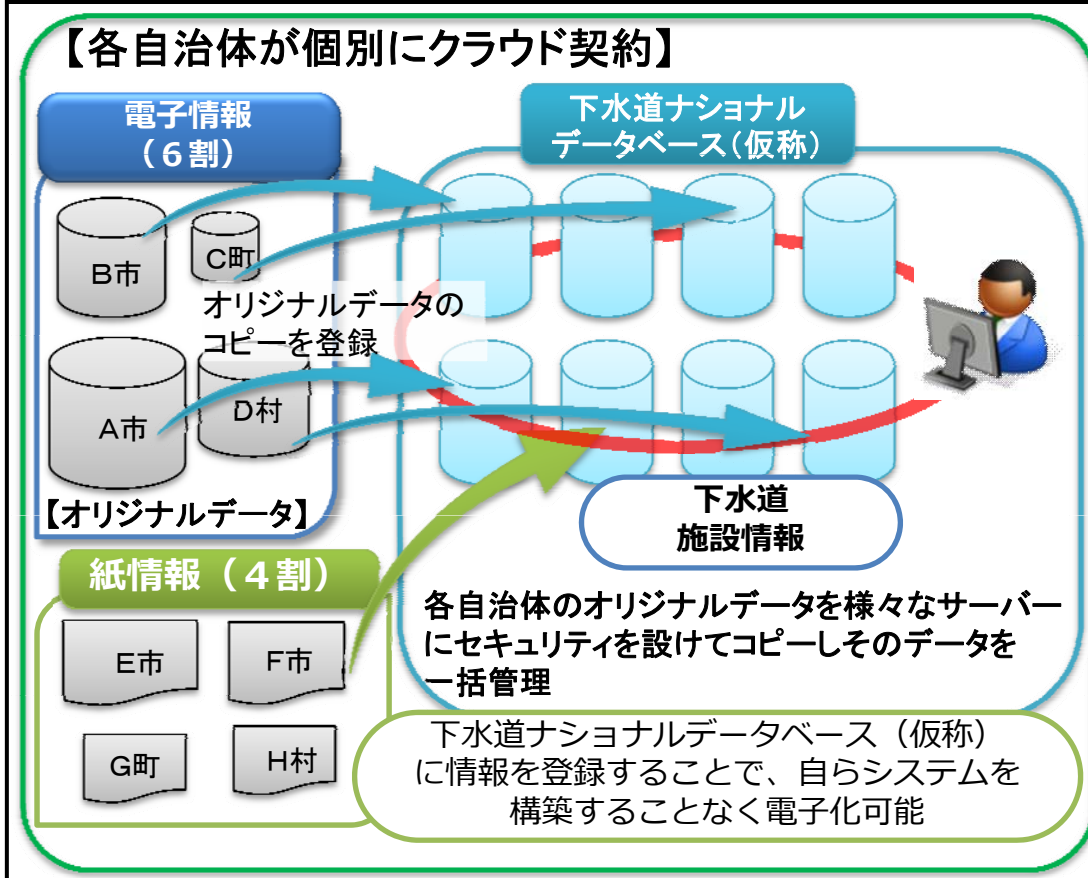


②データ規格への統一方法

G-NDBが主体でデータの統一化を行う	データ提供者(自治体)でデータの統一化を行う
<p>電子情報 (6割)</p> <p>B市 C町</p> <p>A市 D村</p> <p>【オリジナルデータ】</p> <p>紙情報 (4割)</p> <p>E市 F市</p> <p>G町 H村</p> <p>下水道ナショナルデータベース(仮称) 側でデータの統一化</p> <p>下水道ナショナルデータベース(仮称)</p>	<p>自治体毎にデータの統一化</p> <p>電子情報 (6割)</p> <p>B市 C町</p> <p>A市 D村</p> <p>【オリジナルデータ】</p> <p>紙情報 (4割)</p> <p>E市 F市</p> <p>G町 H村</p> <p>下水道ナショナルデータベース(仮称)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○現実的に1者が約1400の自治体のデータを統一化することは困難 ○データの信頼性の判断等が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ○データの統一化に自治体の手間がかかるため効率的にデータ収集することが困難 ○データの信頼性の判断は可能
<p>△</p>	<p>△</p>

複数のサーバーに登録し一括管理

1つのサーバーでコピーデータの一括管理



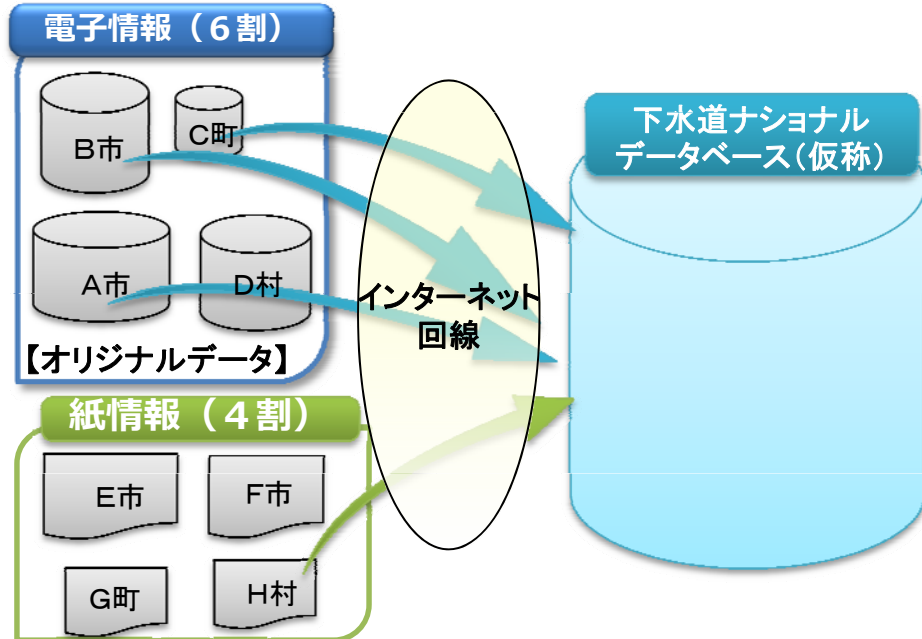
- 複数のサーバーを活用するため民間の競争が生まれる。
- 複数のサーバーのデータを取りまとめるためコストや手間が発生する。

- 単一サーバーであるため民間の競争が生まれにくい。
- サーバーが単一であるためデータを取りまとめる手間は少ない。



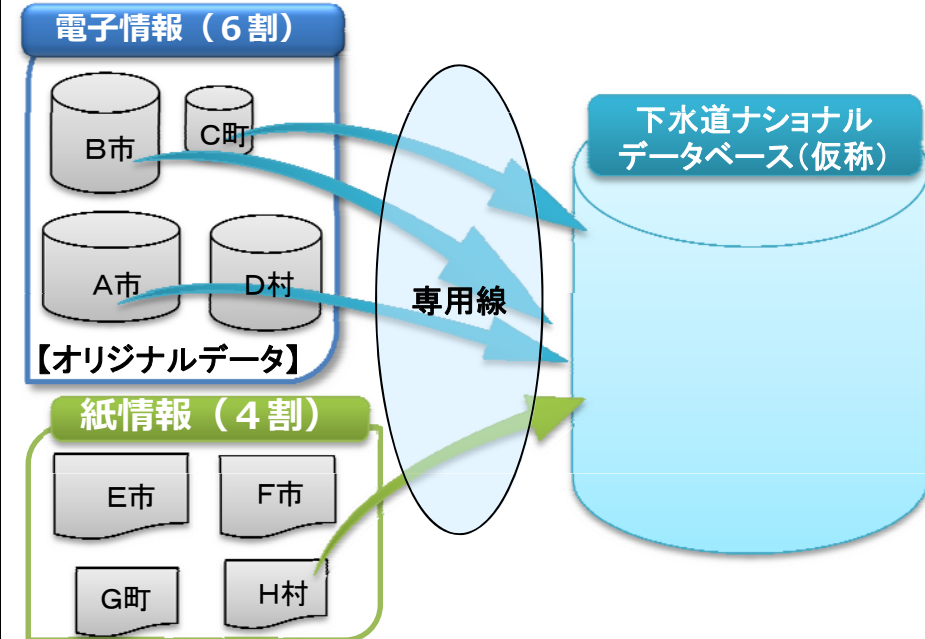
④ネットワーク回線の種類

インターネット回線を活用



- 既存のインターネット回線を使用することで全国から閲覧可能なネットワークを容易に形成できる。
- インターネット回線は誰もが利用できるためセキュリティ上の安全性は専用回線に劣る。

専用回線を構築し活用

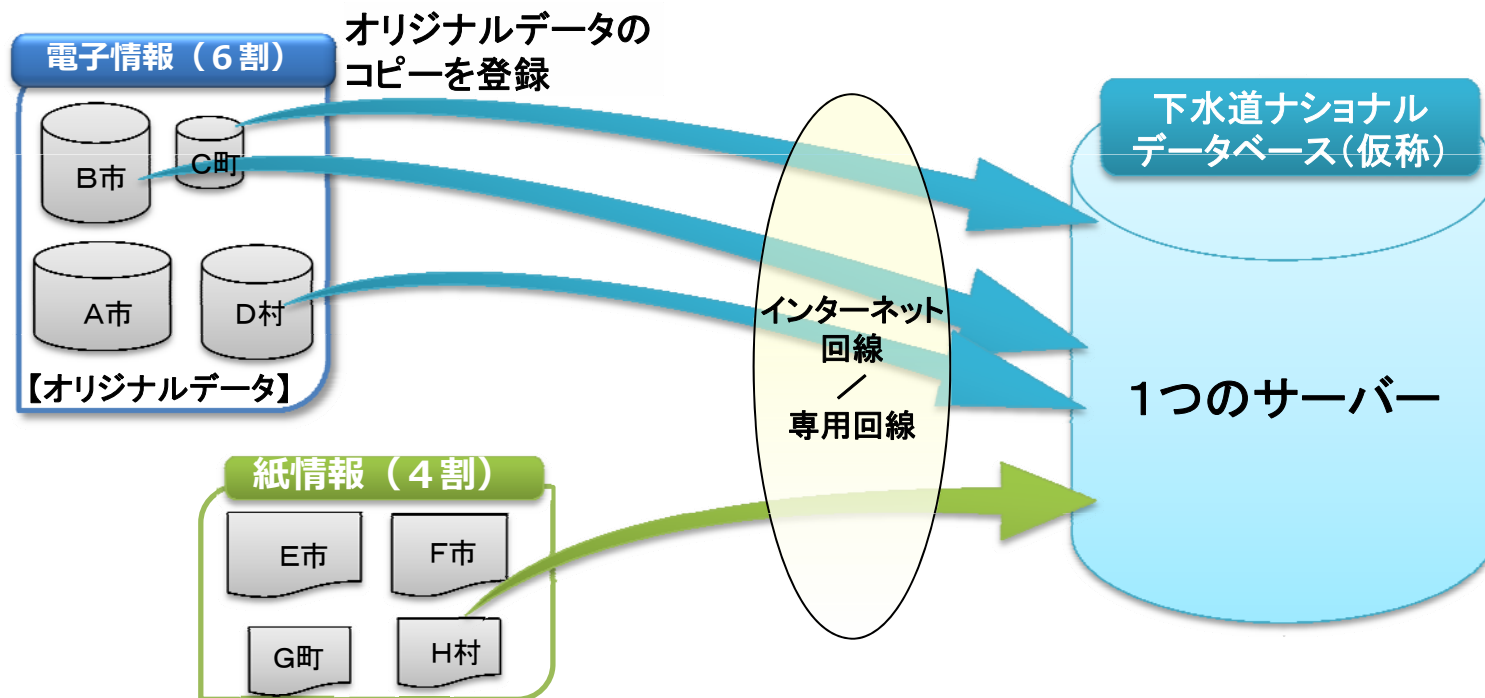


- 専用回線の構築にコストや手間がかかる。
- 専用回線のためセキュリティー上の安全性は高い。
- 災害時の通信量増大による輻輳の影響が少ない。

利用者が選択可能

システム概要(案)

- コピーデータをデータベースに保存
- データの提供者がデータの統一化
- 1つのサーバーで管理
- インターネット回線と専用回線のいずれも利用可能



※データの統一化主体及び方法については今後検討

参考資料

(データベースの保存データ項目)

ナショナルデータベース構築の保存データ項目(案)

計画情報

※:法令で定められているデータ項目

○:必要なデータ項目

データ項目		① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
図面	計画一般平面図	○		
	機場平面図・フローシート	○		
	区画割施設平面図	○		
	供用開始区域図	○		
諸元	計画区域面積			○
	供用開始区域面積			○
	計画人口			○
	整備人口・供用人口			○
	汚水量原単位			○
	降雨強度式			○

施設情報

※:法令で定められているデータ項目

○:必要なデータ項目

データ項目		① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
機場名		○	○	○
設計流入水量		○	○	○
敷地面積		○	○	○
施設名	大分類	○	○	
	中分類	○	○	
処理方式		○	○	
能力	合計能力	○	○	
	系列数・台数	○	○	
高度処理の有無				○
耐震化の有無		○	○	

ナショナルデータベース構築の保存データ項目(案)

設備機器台帳

※: 法令で定められているデータ項目

○: 必要なデータ項目

データ項目	① 被害情報の把握	②アセット マネジメント	下水道統計
位置図面・位置情報	○	○	
機器ID	○	○	
個別機器名称	○	○	
処理区名 ※	○	○	
機場名 ※	○	○	
系列	○	○	
号機	○	○	
設置位置(棟)	○	○	
設置室	○	○	
大分類 ※	○	○	
中分類 ※	○	○	
小分類	○	○	
用途分類	○	○	
種別		○	
主機・補機の別	○	○	
稼働状況	○	○	
耐用年数		○	
設置業者			
設置年次 ※		○	
製造業者	○		
製造年次	○	○	
製造番号	○		
型式 ※	○	○	
仕様 ※	○	○	
能力 ※	○	○	
概算重量			
固定資産管理番号			
取得金額		○	
事業種別			
工事名			
所管課			

ナショナルデータベース構築の保存データ項目(案)

管渠台帳(管渠)

※: 法令で定められているデータ項目

○: 必要なデータ項目

データ項目	① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
位置図(紙台帳スキャン) ※	○		
管きよ番号 ※	○	○	
上流マンホール番号	○	○	
下流マンホール番号	○	○	
排除区分	○	○	
処理区名 ※	○	○	
処理分区名 ※	○	○	
幹枝区分	○	○	
補助対象	○	○	
管きよ機能	○	○	
管材質(管種)	○	○	
断面形状 ※	○	○	
呼び径	○	○	
内法幅 ※	○	○	
内法下幅 ※	○	○	
内法高 ※	○	○	
延長 ※	○	○	
勾配 ※	○	○	
上流側管底 ※	○	○	
下流側管底 ※	○	○	
上流土被り	○	○	
下流土被り	○	○	
設置場所	○		
道路種別	○		
道路管理者	○	○	
舗装種別	○	○	
工事番号			
施工年月日	○	○	
供用開始年月日	○	○	

データ項目	① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
工法	○		
基礎	○		
流下方法	○		
外法幅			
外法下幅			
外法高			
管厚	○		
管きよ端末			
管更生の有無	○	○	
鞆管有無	○		
鞆管材質	○		
鞆管内法幅			
鞆管内法下幅			
鞆管内法高			
鞆管外法幅			
鞆管外法下幅			
鞆管外法高			
鞆管管厚			
副管有無	○		
副管高			
副管管径			
排水区域面積		○	
耐震重要路線の有無	○	○	
浸透有無		○	
光ファイバー有無	○	○	

ナショナルデータベース構築の保存データ項目(案)

管渠台帳(マンホール)

※: 法令で定められているデータ項目
○: 必要なデータ項目

データ項目	① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
マンホール番号	○	○	
位置座標	○		
排除区分	○	○	
処理区名 ※	○	○	
処理分区名 ※	○	○	
幹枝区分	○	○	
補助対象	○	○	
地盤高 ※	○	○	
種別(号数) ※	○	○	
機能	○	○	
材質	○	○	
深さ	○	○	
寸法(長辺) ※	○	○	
寸法(短辺) ※	○	○	
工事番号	○		
施工年月日	○	○	
設置場所	○	○	
道路種別	○	○	
道路管理者	○		
基礎	○		
舗装種別	○	○	
設置方法	○		

データ項目	① 被害状況の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
マンホールふた枚数	○		
マンホールふた機能	○		
マンホールふた材質			
マンホールふた口径	○		
上部高	○		
壁高	○		
耐震重要施設	○	○	
浸透有無		○	
マンホールポンプユニット有無	○	○	
真空弁ユニット有無			
グライндаポンプユニット有無	○	○	
光ファイバー有無	○	○	

ナショナルデータベース構築の保存データ項目(案)

維持管理情報

※: 法令で定められているデータ項目
○: 必要なデータ項目

データ項目	① 被害情報の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
流入下水量	○		○
汚泥量	○		○
エネルギー発生量			○
資源発生量			○
流入水質			○
放流水質			○
電気代			○
薬品使用量			○
燃料代			○
送風量			○

点検調査情報

※: 法令で定められているデータ項目
○: 必要なデータ項目

データ項目	対象施設	① 被害情報の把握	②アセットマネジメント	下水道統計
日常点検	設備機器			
定期点検	設備機器		○	
劣化調査	個票判定 設備機器・管渠施設		○	
耐震診断調査	個票判定 機場土建・管渠施設		○	
土砂堆積調査	堆積量 管渠施設			
清掃記録	管渠施設			
故障・修繕記録	故障内容 道路陥没 修繕内容 修繕費用 設備機器・管渠施設		○ ○	
苦情記録	苦情内容 対応記録 管渠施設			

下水道統計調査内容

下水道統計には、全56の調査メニューがあり、各メニューの中には詳細なデータ項目がある。

1	01-1 計画
2	01-2 普及状況
3	02-1 管路施設(現有施設)
4	02-2 管路施設(各種作業)
5	03-1 ポンプ場施設
6	03-2 ポンプ場(維持管理委託の現況)
7	03-3 ポンプ場施設(使用エネルギー)
8	04-1 ポンプ場施設(ヒートポンプ)
9	04-2 ポンプ場施設(上部利用)
10	05-1 雨水貯留施設
11	05-2 オンサイト雨水貯留施設
12	05-3 雨水浸透施設
13	06-1 処理場施設
14	06-2 処理場施設(電力関係)
15	06-3 処理場施設(処理場内ポンプ場)
16	06-4 処理場施設(現有施設)
17	06-5 処理場施設(維持管理委託の現況)
18	06-6 処理場施設(使用エネルギー)
19	07-1 水処理施設(現有施設)
20	07-2 活性汚泥法等(現有施設)
21	07-3 消毒施設(薬品)
22	07-4 消毒施設(オゾン)
23	07-5 消毒施設(紫外線)
24	08 水質試験成績
25	09-1 処理場施設(ヒートポンプ)
26	09-2 処理場施設(上部利用)
27	10 処理水再利用
28	11 用途別有効利用状況(汚泥)

29	12 緑農地利用(コンポスト化整備)
30	13 建設資材利用
31	14-1 自家発電等
32	14-2 消化ガス発電
33	15-1 汚泥処理施設(現有施設)
34	15-2 汚泥洗浄設備
35	15-3 熱処理・湿式酸化設備
36	16 汚泥輸送設備
37	17 汚泥濃縮設備
38	18 汚泥消化設備
39	19 汚泥脱水設備
40	20 汚泥機械乾燥設備
41	21 汚泥焼却設備
42	22 汚泥熔融設備
43	23 し尿投入量
44	24 汚泥最終処分
45	25 汚泥他部局からの受入汚泥
46	26-1 建設費
47	26-2 下水道管理費
48	26-3 施設別維持管理費
49	27 維持管理費・財源内訳(企業会計)
50	28-2 流域下水道維持管理負担金制度
51	29-1 受益者負担金制度
52	29-2 使用料制度
53	30 執行体制
54	31-1 包括的民間委託
55	31-2 指定管理者制度
56	32 都道府県費補助

参考資料(下水道統計情報(抜粋))

1-1 計画

項目	単位	項目	単位	項目	単位
年度	-	都市計画決定・処理面積・合計(汚水分流+合流)	ha	流域関連・関連流域名	-
ツリーコード	-	都市計画決定・処理面積・汚水(分流)	ha	一部事務組合・構成市町村名	-
都道府県	-	都市計画決定・処理面積・雨水(分流)	ha	備考	-
都市CODE	-	都市計画決定・処理面積・合流	ha	団体事業コード ^①	-
市町村等団体名	-	事業認可・予定処理面積・合計	ha	供用	-
事業区分No.	-	事業認可・予定処理面積・汚水(分流)	ha	行政人口	人
事業区分名	-	事業認可・予定処理面積・雨水(分流)	ha	同事業面積	ha
事業名	-	事業認可・予定処理面積・合流	ha	流開割合	-
種別	-	事業認可・計画処理人口・計画人口	人	公共と特環の別	-
施設番号	-	事業認可・計画処理人口・計画人口・うち観光人口	人	供用事業数	-
施設名	-	供用告示面積・供用開始済面積・汚水(分流)	ha	公共、特環いずれか	-
系列番号	-	供用告示面積・供用開始済面積・合流	ha	供用事業区分数	ha
供用・未供用の別	-	排除方式	-	分流汚水面積	ha
下水道事業認可取得・初回認可(元号)	-	雨水計画・降雨強度・min	mm/時	合流面積	-
下水道事業認可取得・初回認可(年)	-	雨水計画・降雨強度・max	mm/時	分流汚水面積/団体集計	-
下水道事業認可取得・初回認可(月)	-	雨水計画・確率年・min	年	合流面積/団体集計	-
下水道事業認可取得・最終認可(元号)	-	雨水計画・確率年・max	年	団体別排除方式	-
下水道事業認可取得・最終認可(年)	-	汚水計画・1人1日平均汚水・min	L/人・日		
下水道事業認可取得・最終認可(月)	-	汚水計画・1人1日平均汚水・max	L/人・日		
供用開始(元号)	-	汚水計画・1人1日最大汚水・min	L/人・日		
供用開始(年)	-	汚水計画・1人1日最大汚水・max	L/人・日		
供用開始(月)	-	計画地下水量・min	%		
全体計画・処理面積・合計	ha	計画地下水量・max	%		
全体計画・処理面積・汚水(分流)	ha	他事業処理・接続先処理場名	-		
全体計画・処理面積・雨水(分流)	ha	他市町村・他団体処理・接続先他団体名1	-		
全体計画・処理面積・合流	ha	他市町村・他団体処理・接続先他団体名2	-		
全体計画・計画処理人口	人	他市町村・他団体処理・接続先処理場名1	-		
全体計画・計画処理人口・うち観光人口	人	他市町村・他団体処理・接続先処理場名2	-		
全体計画・全体計画区域内人口(現在人口)	人				

1-2 普及状況

項目	単位
年度	-
ツリーコード	-
都道府県	-
都市CODE	-
市町村等団体名	-
事業区分No.	-
事業区分名	-
事業名	-
種別	-
施設番号	-
施設名	-
系列番号	-
行政面積	ha
市街地面積	ha
排水区域面積	ha
処理区域面積	ha
行政人口	人
市街地人口	人
排水区域人口(観光人口・外国人を除く)	人
処理区域人口(観光人口・外国人を除く)	人
水洗便所設置済み人口(観光人口・外国人を除く)	人
処理区域戸数	戸
水洗便所設置済み戸数	戸
備考	-

参考資料(下水道統計情報(抜粋))

2-1 管渠施設(現有施設)

項目	単位
年度	-
ツリーコード	-
都道府県	-
都市CODE	-
市町村等団体名	-
事業区分No.	-
事業区分名	-
事業名	-
種別	-
施設番号	-
施設名	-
系列番号	-
管路施設・種別別総延長(計)	m
管路施設・種別別延長(汚水)	m
管路施設・種別別延長(雨水)	m
管路施設・種別別延長(合流)	m
管径別総延長(計)	m
管径別延長・自然流下・600未満	m
管径別延長・自然流下・600～2000未満	m
管径別延長・自然流下・2000以上	m
管径別延長・真空式・100未満	m
管径別延長・真空式・100～150未満	m
管径別延長・真空式・150以上	m
管径別延長・圧力式・100未満	m
管径別延長・圧力式・100～150未満	m
管径別延長・圧力式・150以上	m
マンホール形式ポンプ場・汚水	箇所
マンホール形式ポンプ場・浸水対策	箇所
合流管に係る雨水吐け口設置数・自然吐き口	箇所
合流管に係る雨水吐け口設置数・ポンプ場・処理場施設の吐き口	箇所
合流管に係る雨水吐け口設置数・合計	箇所
備考	-
真空式／団体数	箇所
圧力式／団体数	箇所

2-2 管渠施設(各種作業)

	単位
年度	-
ツリーコード	-
都道府県	-
都市CODE	-
市町村等団体名	-
事業区分No.	-
事業区分名	-
事業名	-
種別	-
施設番号	-
施設名	-
系列番号	-
管路施設・維持管理委託・管路調査	-
管路施設・維持管理委託・管路清掃	-
管路施設・維持管理委託・管路修繕	-
管路施設・維持管理委託・マンホール形式ポンプ場清掃	-
管路施設・調査延長・目視	m/年
管路施設・調査延長・TVカメラ	m/年
修繕延長・開削・600未満	m/年
修繕延長・開削・600～2000未満	m/年
修繕延長・開削・2000以上	m/年
修繕延長・非開削・600未満	m/年
修繕延長・非開削・600～2000未満	m/年
修繕延長・非開削・2000以上	m/年
改築延長・開削・600未満	m/年
改築延長・開削・600～2000未満	m/年
改築延長・開削・2000以上	m/年
改築延長・非開削・600未満	m/年
改築延長・非開削・600～2000未満	m/年
改築延長・非開削・2000以上	m/年
清掃延長	m/年
堆積物最終処分・年間処分量	t/年
堆積物最終処分・処分方法	-
処分方法(具体内容)	-
備考	-

参考資料(下水道統計情報(抜粋))

3-1 ポンプ場施設

項目	単位
年度	-
ツリーコード	-
都道府県	-
都市CODE	-
市町村等団体名	-
事業区分No.	-
事業区分名	-
事業名	-
種別	-
施設番号	-
ポンプ場名	-
系列番号	-
ポンプ場施設・稼動(元号)	-
ポンプ場施設・稼動(年)	-
ポンプ場施設・稼動(月)	-
ポンプ場施設・施設の変更・変更事項	-
ポンプ場施設・施設の変更(年)	-
ポンプ場施設・施設の変更(月)	-
ポンプ場施設・施設の変更内容(旧名称)	-
ポンプ場施設・施設の変更内容(旧事業名)	-
ポンプ場施設・計画排水面積・汚水	ha
ポンプ場施設・計画排水面積・雨水	ha
ポンプ場施設・計画排水量・汚水・晴天時最大	m3/時
ポンプ場施設・計画排水量・汚水・雨天時最大	m3/時
ポンプ場施設・計画排水量・雨水・雨水量	m3/時
ポンプ場施設・現有排水能力・汚水ポンプ揚水量・晴天時最大	m3/時
ポンプ場施設・現有排水能力・汚水ポンプ揚水量・雨天時最大	m3/時
ポンプ場施設・現有排水能力・雨水ポンプ揚水量	m3/時
ポンプ場施設・自家発・有無	-
ポンプ場施設・脱臭設備・有無	-

項目	単位
ポンプ場施設・揚水・排水量・汚水総量	m3/年
ポンプ場施設・揚水・排水量・雨水総量	m3/年
ポンプ場施設・最終処分量・沈砂	t/年
ポンプ場施設・最終処分方法・沈砂	-
ポンプ場施設・最終処分量・スクリーンかす	t/年
ポンプ場施設・最終処分方法・スクリーンかす	-
備考	-
休廃止	-
変更のあった年月	-